



# 協働ニュース



しなもん  
品聞

みなさま、こんにちは。清泉女子大学ボランティアセンターです。センターは昨年より協働ネットワーク運営委員会に参加しています。今回は、これまでの協働ネットワークはじめ品川区の方々との活動紹介と、今後の新しい協働の可能性についてインタビューさせていただいた内容について報告いたします。

## 品川区の皆様との軌跡とこれから～ ボランティアセンター設立 10周年を記念して

これまでの10年間に参加させていただいた活動をご紹介します

### 地域活動 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・社会貢献活動しながわ・協働ネットワークしながわ  
(品川区地域活動課協働推進係)
- ・エコフェスティバル・防災訓練・品川区地域国際交流懇談会親子英語活動夏期合宿(品川区地域活動課国際担当)
- ・協働に関するインタビュー(品川区企画調整課)
- ・クリーン五反田(西五反田商店会)
- ・フェアトレード推進(NPO法人みんなの食育)
- ・イベント参加(NPO法人IWC国際市民の会)

### 環境 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・エコキャップ回収推進運動(コベルコ建機(株))

### 観光 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・品川区都市型観光プラン専門部会(品川区広報広聴課)

### 子ども・教育・福祉 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・品川区立小学校授業、放課後アシスタント  
(日野学園・第一日野小学校・荏原平塚学園)
- ・イベント参加  
(NPO法人品川チャイルドライン 株式会社ITALICO  
NPO法人ふれあいの家-おばちゃんち)
- ・学生グループ「大空」による絵本読み聞かせ(福祉施設)

### まちづくり ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- ・区長とのタウンミーティング・シティプロモーション  
(品川区広報広聴課)

### 学生指導・講師としてお越し頂いた方々 ☆☆☆

- ・AAR Japan・NPO法人パルレ・NPO法人ウーヴ
- ・品川区人権啓発課男女共同参画担当

「デートDVを知っていますか」

～ここでは、左記の活動の中から5つの活動について  
ご紹介させていただきます～

## 1・協働ネットワーク運営委員会

品川区NPO法人、企業の方々から自主的に形成するグループで、活動目的は地域協働推進です。アットホームな雰囲気の中、何でも気兼ね無く相談に乗って下さる協働推進係の皆様のおかげにより活動が成立します。運営委員会は、お互いの役割・立場から必要とされている活動を尊重しつつ、共に考え協働します。また、勉強会開催、協働ニュース品聞発行を行っています。今年度は「防災」「協働とは何か・協働ネットワークしながわの役割」をテーマにした勉強会を開催しています。先日実施された「防災ワークショップ第2弾」は、NPO法人、町内会の方々のご参加のもと防災課の方による講義形式で行われ、大変有意義な学びがありました。次回は区民の立場で各自の役割を検討する事が課題です。

## 2・フェアトレード推進活動

センター設立以来、学生が取り組むフェアトレード推進活動において、協働推進係の皆様のご尽力でNPO法人みんなの食育と協働を開始しました。みんなの食育と、学生ボランティアSeoグループ・TFT-Seisenの2団体が、食育とフェアトレードの観点からオリジナルお菓子を作成中。来年2月の社会貢献活動展で発表する予定です。



NPO法人みんなの食育さんとの会議

### 3・区長と学生のタウンミーティング

～声が届くミーティング～

清泉女子大学地球市民学科 2年 山田幸奈



大学内でご教授いただいている先生から声がかかったのがきっかけだった。私は大学1年次の授業で「品川の宝探し」を行った。これは、自分たちの目で見、体験して、品川の魅力を

自分たちの手で伝えるというものだった。私のグループは3人のメンバーで、北品川商店街にある25のお店や施設にご協力いただきフィールドワークを行った。この時、私がフィールドワークを行ったのは住民側のみ、つまり住民の声しか拾えなかった。では区役所の方々はどのように感じているのだろうか。住民の想いとの間、違いはないのだろうか。授業では「街の人が想う品川の宝」という一側面しか扱えなかったことを課題として残した。そしてご縁があってお誘いいただいたのがこのタウンミーティングである。品川区長と一人ひとりが意見交換をさせていただけるということで、これは区役所側の声にふれることができるチャンスだと考えた。こうして私はタウンミーティングに参加させていただけることになった。

タウンミーティングのテーマは「もっと魅力ある品川区に変えていくために必要なことは」というものであり、私には「東海道（品川宿）の観光」についての発言が求められた。これは先述の、大学1年時の授業のフィールドワークで分かった事が、北品川商店街で働いているほとんどの方が品川の魅力として「東海道の街並み」と回答し、昔ながらの街並みを愛し、大切にしているということだったからだ。東海道の観光を品川区の魅力として発信していくには、単に情報を発信するだけでなく、商店街で暮らす街の人の想いを観光客の方にも知ってもらうことで、そこへ行ってみたい、会ってみたいという思いを持つのではないかと考えた。よって区長には、より住民やお店の方にフォーカスして東海道への想いや魅力を発信していくことで、品川区の魅力アップにつなげていけるのではないかと提案した。これに対しての区長の意見は、「土地に対する思いの強さ」と東海道の人

たちは非常に強い。江戸時代から代々住んでいる方もおり、その方々にとっては思いが募る街。祭りが盛んで誇りが強く、それでいて街の外から来た人も受け入れる街。そういうところに東海道品川宿の面白さがある。」との事だった。このような学生と区長が同じ空間で語り合うミーティングというのは初めての参加であったが、学生が意見を出し、その場で区長のお考えを伺うことができた。そして区役所側も住民も、東海道品川宿を品川の宝と考えている事がわかった。我々学生に留まらず、幅広い意見が区に届くこのような場の存在こそ、品川区を変える力になるのではないか。最後にこのような貴重なミーティングに参加させていただきまして、ありがとうございます。

### 4・シティプロモーション キャッチコピー選定委員会

清泉女子大学学長室 PRキャスト  
日本語日本文学科 1年 杉山小夜子

委員会当日は、学生としての参加が私1名であるところ、職員・選考委員の皆様がつたない意見にも真剣に耳を傾けてくださったおかげで気持ちもほぐれ大変勉強になりました。

結果「わ！しながわ」に決定しました。普段の日常生活の中で自治体だけでなく様々な団体、イベントのポスターや広告、それらと共に掲載されているキャッチコピーを目にする事はありますが、そのたった数文字の言葉の裏側にこんなにも多くの思考が飛び交っていたとは思っても寄らず非常に新鮮でした。普段何気なく街を彩り溶け込んでいるキャッチコピーへの見方が変わる経験となりました。



### 5・品川区都市型観光プラン専門部会

清泉女子大学学生課 ガイドガールズ愛好会

英語英文学科 3年 鏡木由佳里

「品川区都市型観光プラン」は、近年の外国人観光客の増加、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催に伴い、官民一体となって品川区の観光振興に取り組む為の方向性や施策を策定するものです。この策定にあたって、検討委員会と専門部会が設けられており、私は専門部会の方に所属しています。前回の部会では、観光のコンセプトや戦略が立てられ、それについて議論をしていきました。専門部会は、近日第三回専門部会が開催される予定です。その他にも若手ワークショップに参加しました。品川区の観光資源を改めて

洗い出し、コースを選定するというものです。企業の方や区役所の方と接する機会が増え、学ぶ事が多かったです。品川区を「観光」という目線で考えると、寺や神社巡り、水辺観光、商店街での食べ歩きなど、様々な観光の仕方が出来ると分かりました。しながわ観光をより盛り上げられるよう、私も専門部会に励んで参りたいです。

### 新しい協働の可能性について

今回、品聞発行において、4つの団体にインタビューさせていただきました。ボランティアセンターでは、10周年を迎え「生活者としての外国人」についての活動が増えており、皆様にご意見をうかがいました。

### 1・品川区地域活動課国際担当

国際担当では、品川区在住外国人の方へ向け「防災訓練」「エコフェスティバル」を通して地域の生活を学んでもらう機会を設けています。通常の区内外国人のための活動に加え、今年度は特に「2020年オリンピック・パラリンピック」に向け、区内日本人が外国人を気持ちよく迎えらるよう、日本人向けのプログラムを組んでいます。①外国人観光客を積極的に受け入れる雰囲気地域全体で作るため「英語少し通じます商店街」プロジェクト②品川区協働提案事業 小学生向け国際人育成ワークショップ③品川区協働提案事業 中学生向け国際人育成ワークショップを実施しています。①では、ネイティブの英会話講師が商店街でお客様役を行い、商店街の方々に接客シュミレーションをする機会を提供、②③では小中学生向け異文化体験、日本文化体験提供、成果発表を通して、多くを学んでもらう事ができる魅力的なプログラムです。センターは、今後も学生や、身近な外国人の方々に国際担当のイベント参加を促し、区民の一員であることの認識を深めるきっかけ作りのお手伝いが出来ればと思っております。



小学生向け国際人育成ワークショップ ラオス編

楽しく理解  
楽しく学ぼう！



### 2・NPO 法人 IWC 国際市民の会

1982年に発足し、行政からの委託事業として外国人の日本語支援、生活・進学相談などを行っています。今回は率直に「生活者としての外国人の日本語」についてお伺いさせて頂いたところ「現在、多くの外国人の方へ支援を行っているが、まだまだ参加できない方々がいると思う。そういった方々への新しい支援の場作りがあれば良いと思っている。日常生活に役立つ日本語をテーマ別に学ぶ機会があれば、学習者も助かるのではないかと。しかし、日本人はいつも外国人を支援するというだけの目線ではうまくいかない。お互いフラットな立場で、同等に学び、学ばせて頂くという意識が大切。そして忘れてならないのは福祉の視点。寄り添いの気持ちを持って活動を行いたい。」という貴重なご回答をいただきました。センターでは「福祉の視点を持ち、寄り添いを大切にした共生」を目指しており、今後も協働させていただければと考えています。



12/13(日)は、フラメンコ部がイヤーエンドパーティーに参加します！過去には手話サークルH.A.C.Sも参加させていただきました！

### 3・公益財団法人品川区国際友好協会 SIFA

1984年以来、品川区が締結した姉妹都市（米国メイン州ポートランド市）、友好都市（ニュージーランド国オークランド市・スイス連邦ジュネーヴ州ジュネーヴ市・中国ハルビン市）との交流、青少年ホームステイ派遣と受け入れ、「大井どんたく」での大使館と区民交流の場の提供、在日外国人向け日本語教室、日本人向け英会話教室の運営、文化スポーツ交流を深める会の実施などが主な事業です。



日本語教室オリジナルテキスト

姉妹・友好都市との交流の軌跡が一面に飾られた美しい友好協会内は、常に区民に解放されています。課題としては、現在登録している約150名の外国人

(中国国籍が最多・東南アジア系出身が多い)が参加する日本語教室に関して、今後更に仕組みを整え、学習者に魅力ある教室運営を検討していきたいと語って下さいました。品川区地域活動課国際担当同様「2020年オリンピック・パラリンピック」開催に向け準備が整っているとお話でした。今後は留学生を通して日本語教室について連携できることがあるかもしれないと感じました。



公益財団法人品川区国際友好協会今岡様(右)、堀内様(左)台湾の留学生陳さん(中央)と

#### 4・ 協働ネットワーク運営委員会

運営委員会で、以下の内容について皆様に伺いました。

- ①近所に外国人がいるかどうか？  
→いるが、今のところ特に付き合いは無い。
- ②外国人との協働をどう考えますか？  
→やってみても良いと思う。言葉が問題。外国人に限らずバリアフリーで協働を考えるのは良いと思う。
- ③3・11で近所の外国人の方々がどうしていたか知っていますか？  
→怖くて家にいられず、近所の公共施設に宿泊していたようだ。



「協働ネットワーク」では皆様の入会をお待ちしております。お問い合わせは「協働ネットワークしながわ」「協働推進係」まで

というような、貴重な生の声を頂きました。「現在お付き合いは無いが、機会があれば外国人の方とぜひ協働していきたい」という前向きな意見でまとまりました。今後の進展が楽しみです。

### ～今後の新しい協働について～

今回、品川区地域活動課国際担当主査の小幡様、公益財団法人品川区国際友好協会の事業課長今岡様、次長堀内様、品川区地域活動課協働推進係の西山様、協働ネットワーク運営委員会の皆様、NPO 法人 IWC 国際市民の会理事松村様、広報部長仁村様にインタビューさせて頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2020年オリンピック・パラリンピック開催が決定し、品川区ではまずは英語に親しみ外国人を積極的にもてなしが出来るようになるため、区民のために素晴らしいプログラムが組まれていることを実感しました。そして在品川区外国人支援として、各団体のプログラムを学ぶ事が出来ました。センターでは皆様のプログラムに積極的に参加させて頂き、今後オリンピック・パラリンピック開催で更に外国人観光客、在住外国人が増加してゆくことを考え、外国人が日本語を学び、日本人とお互いを尊重し、共生できる新しい場作りを考えております。このような活動を行っている方、協働を希望する方は是非お声掛けください。

#### 協働ネットワークしながわ 平成27年度学習会

テーマ：「地域のために」から「地域とともに」へ

～公共事業の担い手に問われるもの～

講師：西川 正先生 (NPO 法人埼玉ハンズオン)

日時：平成27年12月14日(月)13時半～16時半

場所：中小企業センター2階 大講習室

主催&申込：協働ネットワークしながわ

品川区地域活動課協働推進係

Tel：03-5742-6693

Email: chikikat@city.shinagawa.tokyo.jp

～皆様、ぜひご参加ください！

お申し込みをお待ちしております～

デザイン・編集協力：清泉女子大学美術部

所々に登場するペンギンのような生物は主に部員によるらくがきに色付けしたものである。名前はまだない。制作にあたり「国際関係のボランティア活動が目立つようだったので、エアメール風にレイアウトしました」と部員は自慢げに言うが、実は世界中を旅するペンギンが品間11号をエアメールしたのかもしれない。なお、美術部公認マスコットはキリンである。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします！

記念すべき一匹目のペンギン

